



帳簿(證憑書)焼却(棄却)處理報告書
 昭和二十一年二月三日
 第一百師團長殿
 左記通り焼却処分現認證憑相添へ
 報告及候也

書類名稱	作成期間	數量	摘要
兵器受拂既當簿	昭和二十一年/分	一冊	保存年限十年
第三類兵器受拂簿	昭和二十一年/分	一冊	保存年限五年
便習用彈藥受拂簿	昭和二十一年/分	一冊	
兵器諸證票綴	昭和二十一年/分	一九冊	補給返納受入拂去
兵器細目名稱表		三冊	
發來輸綴	昭和二十一年/分	一冊	
諸規定綴	昭和二十一年/分	一冊	

(館谷良・京班)

0731

陸軍

兵器関係諸計畫一綴	昭和五二〇年令	一冊
工場記録	昭和五三〇年令	一冊
兵器別式関係書類	昭和五三〇年令	一冊
兵器(彈藥)受授簿	昭和五三〇年令	五冊
彈藥受授簿	昭和五三〇年令	五冊

右證明又

昭和五三〇年六月一日

(納谷良・京現)

0732

焼却書類現況表

一、焼却書類名稱並數量

書類名稱	出納期間	數量	備
兵器受拂配當簿	昭和一九三〇年分	一冊	保存年限十年
第三類兵器受拂簿	昭和一九三〇年分	一冊	保存年限五年
兵器諸證書綴	昭和一九三〇年分	四冊	補給返納受入拂出各一
兵器細目名稱表		三冊	
發來翰綴	昭和一九三〇年分	一冊	
諸規定綴		一冊	
兵器関之諸計畫綴	昭和一九三〇年分	一冊	
工場記録	昭和一九三〇年分	一冊	
練習用彈藥受授簿	昭和一九三〇年分	一冊	保存年限十年
兵器制式関之書類	昭和一九三〇年分	一冊	

二、焼却年月日

昭和三十年八月十八日

(總務員・京取)

0733

三場

折

河南省洛陽縣洛陽西宮

四、立會者

陸軍中尉 岩淵忠正

五、燒却事由

昭和三年八月十五日詔書ヲ拜シ

事變ノ急変ヲ知ル時ニ尙岡ノ狀況ハ悪化シ且急

速ニ後方撤動等ヲ豫期セラル折一上司ヨリ重

要書類ノ處分ヲ命ゼラレタルヲ以テ綿密ニ検査

ヲ実施スルト共ニ立會者陸軍中尉岩淵忠正

監視ノ下ニ燒却セリ

右事實ト相違ナキニテ證明ス

昭和三年二月二日

第一百師團砲兵隊長

佐賀勝邦

(編谷良・東京)

0734

焼却書類現認證

一、焼却書類名稱並數量

名	稱	出納期間	數量	摘	要
兵器諸證票綴		昭元 昭二	三	補給、返納拂送簿各一	
兵器彈藥要簿		昭元 昭二	一		
彈藥受授簿		昭元 昭二	一		

二、焼却年月日

昭和二十年八月二十日

三、場

折

河南省洛寧縣長水鎮

四、立會者責任者

陸軍少尉 黒川 康一

五、焼却理由

昭和二十年八月十五日詔書ヲ拜シ

事態、急變ヲ知レリ時ニ周圍ノ状況ハ悪化シ且急遽ナル後方機動等ヲ豫期セラル折上司ヨリ重軍書類ノ處分ヲ命セラレタルヲ以テ綿密ニ検査ヲ實施

0735

スルト共立會者陸軍少尉黒川康一因被ノ下ニ
焼却セリ
右事實ト相違ナキコトヲ證明ス

昭和二十年十二月二十日

第百十師團砲兵隊兼第二中隊長
陸軍大尉 小態修

0736

燒却書類現認證
一、燒却書類名稱及數量

名	簿	出納期間	數量	摘	要
兵器指簿	綴	自昭二十九年 至昭三〇年	三冊	酒給送納押券簿各一	
兵器(彈藥)受納簿			一		
彈藥受納簿			一		

二、燒却年月日

昭和三十年八月二十日

三、場所

河南府洛陽縣洛陽西宮

四、主會者(責任者)

陸軍中尉 遠藤忠一

0737

五、燒却ノ事由

昭和三年八月十五日詔書ニ付テ事變ノ急變ヲ知シ、時ニ因テ
ノ狀況ハ惡化シ且急速ニ九後方機動ヲ豫期セテ、折上司
司ノ重要書類ノ處分ヲ命ジ、此ノ以テ御意ヲ檢査シ實
施スルニ付、之ニ會者陸軍中尉遠藤忠一監視ノ下燒却ス
右事實ハ相違ナキコトヲ證明ス。

昭和三年八月二十日

陸軍中尉遠藤忠一

陸軍中尉 遠藤 忠一

0738

焼却書類現認證

一、焼却書類名稱並數量

書類名稱	出納期間	數量	備考
兵務諸證書綴	昭和九年至	三冊	補給返納拂出各一
兵務諸證書綴	昭和九年至	一	
彈藥受授簿		一	

二、焼却年月日

昭和二十年八月八日

三、場所

河南省洛陽縣洛陽西宮

四、立會者(責任者)

陸軍中尉岩淵忠正

五、焼却事由

昭和二十年八月五日詔書ヲ拜シ事態ハ急變ヲ知レリ時ニ
 周圍ノ状況ハ悪化シ且急速ナル後ヲ機動等ヲ豫期セラル

(昭和三十年四月六日)

0739

陸軍

折上ヨリ重要書類ノ処分ヲ命セラレタルヲ以テ綿密ナル
検査ヲ實施スル共ニ立會者陸軍中尉岩淵忠正監視
下ニ燒却セリ

右事實ト相違^{ナク}テ^下證明ス

昭和二十一年十月二十日

第壹師團砲兵隊第三中隊長

陸軍中尉 岩淵忠正

(本紙 第六四三和昭)

0740

焼却書類現認證

一、焼却書類並數量

書類名稱	出納期間	數量	備考
兵器諸證書類	昭和十九年 二十一年度	三冊	補給部出返納各一
彈藥出納簿	令	一冊	
彈藥受領簿	令	一冊	

二、焼却年月日

三、場所

四、立會者(責任者)

五、焼却事由

昭和二十一年九月三日

河南省洛陽縣洛陽西宮

陸軍中尉 大熊 勇

昭和二十一年八月十六日詔書ヲ採ニ事能

(細谷典・京東)

0741

ハ急変ヲ知レリ時ニ周圍ノ状況ハ悪化シ且急遽ナル後方機動
等ヲ豫期セラル折上ヨリ重要書類ノ處分ヲ命ゼラレタル以
テ綿密ナル検査ヲ實施スルト共ニ立會者陸軍中尉大能勇
監視下焼却セリ

右事實ナルコト相違イモトテ證明ス

昭和二十年十二月二十日

第百師團砲兵隊第四中隊長 陸軍中尉 大能 勇

納橋大・東京

0742

燒却書類現認證
一、燒却書數名稱並數量

名	稱	出納期間	數量	備
兵器諸證	票綴	昭元年、昭二年	三	補給、返納、拂出簿、各一
兵器(彈藥)受役簿		昭元年、昭二年	一	
彈藥受役簿		昭元年、昭二年	一	

二、燒却年月日

昭和三年八月十八日

三、場所

河南省洛陽縣洛陽西宮

四、立會者(責者)

陸軍大尉 市山 敬三

五、燒却理由

昭和三年八月十五日、詔書ヲ拜シ、事態

ノ急変ヲ知リ、時ニ周圍ノ狀況ハ惡化シ且急速ナル後方
機動等ヲ豫期セラル、折上ヨリ重要書類ノ處分ヲ
命セラレタルヲ以テ、綿密ナル検査ヲ實施スルト共ニ立會

0743

者陸軍大尉市山敬三臨視、下ニ燒却セリ、
右事實ト相違ナキトテ證明ス

昭和三年十二月二十日
第一百師團砲兵隊 第五中隊長

0744